

水一滴で笑顔

志學館中等部 二年 木原 大翔

「おはよう。」

家族にあいさつを交わして次にやることは顔洗いです。冷たい水で顔を洗うとさっぱりします。

「水が大切。」ということとは、誰もが分かっていることです。洗顔のために使ったりお風呂に入るために使ったりします。なにより、生き物の育成に水は不可欠で、水を飲まなかったら、人間は三日で死んでしまうと聞きました。

みなさんはSDGsという近年重要化されて世界各国の目標となっている言葉は知っていますか。SDGsというのは、Sustainable Development Goalsの略で持続可能な開発目標を十七つに分けて設定しています。

調べてみると、その中に

「2 飢餓をゼロに」

「6 安全な水とトイレを世界中に」

という言葉がありました。その言葉から、水や資源がグローバル化されていくことが分かります。そうになったら、今から資源を無駄遣いしすぎる事は良くないということも僕たちに表してくれていることが同時に分かります。このことから、SDGsが表していることは持続可能な開発目標だけでなく、これからの水や資源の使い方を変えていくことが重要になっていくことを僕たちに明確に示しています。

また、最近問題になっている、ロシアのウクライナ侵略があるのはご存じだと思います。ウクライナやロシアでは水を手に入れるのに一苦労な人々は少なくないと思います。なのに、水や資源を無駄遣いする人々は、世界中に沢山います。僕の学校でも、水を出しっぱなしにしていたり、必要以上の水を使ったりしているのを見たことがあります。

水を手に入れるのに一苦労な人々は、僕たちの当たり前が特別になっています。つまり、

彼らは水や食料などの資源がない生活が、当たり前前になつてしまつていくということ。そういう生活をせざるを得ない人々はウクライナやロシアの人々だけではありません。内戦、戦争になつていたり、経済が発展するのが遅れていたりする国々にいる人々も苦しい生活を送っているでしょう。その生活をどう思うかで日々を送っているのでしょうか。僕はそういう生活を送るなんて想像がつかないし、考えただけで心が痛くなつてしまいます。

僕の学校の先生は学年朝礼でいつも、「水やエレベーターなど資源はウクライナやロシアなどの戦争をしている国の人たちに少しでも使ってもらえるように、無駄遣いはしないこと。」
と言っています。僕は、最初にそう言われた日から、困っている人のためになると思つて水は使う分だけ使い無駄遣いをしないように心がけています。

僕から皆さんへ、一つだけ水や資源の使い方についての提案があります。

「苦しい生活を送っている人々に、自分が節約した水や資源が届き。喜んでいる様子を想像しながら、本当に必要な分だけ使いませんか。」

ということですよ。

僕は、これからも水一滴一滴に笑顔が宿っていることを意識しながら生活していきたいですよ。